

理事長特別小委員会 第2回成果報告会（大阪会場）の御報告

日ごろから NPO 法人臨床トンネル工学研究所の活動をご支援をいただきまして有難うございます。

理事長特別小委員会第2回報告会が平成24年12月14日(金)、マイドーム大阪で開催されました。通常の報告会では参加者が多く、出席者お互いの顔が見えないことに対する反省から理事長の主導で30～50人程度の報告会を、ということで行われた報告会でした。最初の「本州で土日100mの先進ボーリング」に関しては賛否両論あり、またロックボルトの無水削孔に関しても難しさがよくわかりました。出席者は「全員発言」の掛け声の下、活発な意見交換がありました。また最後の寺田様による講演に関しては飛驒トンネルの迫力ある写真、ビデオに参加者から感嘆の声が聞かれました。

懇親会におきましては報告会の続きの意見交換やその他もろもろの話に時間のたつのを忘れる状況でした。

講演内容

13:40～14:25	本州で土日100m 先進ボーリングを実現するための現場作業検討	三木 茂 基礎地盤コンサルタンツ(株)
14:25～15:10	劣化地山におけるロックボルトの無水削孔	市川 建作 (株)カテックス
15:10～15:20	休憩	
15:20～16:50	<<特別講演>> 東海北陸自動車道 飛驒トンネルの施工 ～大量被圧湧水と大土圧地山への挑戦～	寺田 光太郎 西日本高速道路エンジニアリング関西(株)
17:30～19:00	懇親会	

参加者 講演会 35名（施工会社43%、コンサルタント11%、メーカー46%）
懇親会 22名（施工会社36%、コンサルタント9%、メーカー55%）



以上